

## 2026年度事業計画

### 【取組方針】

土庄町・小豆島町と一体となって進めてきた「持続可能な観光」分野において、昨年度両町が国連世界観光機関よりベストツーリズムビレッジを受賞しました。それらの実績により四国ツーリズム創造機構、せとうち DMO など多くの団体が小豆島に先進地視察にいらっしやいました。これからも「持続可能な観光」をキーワードに小豆島を国内外にアピールしてまいります。

瀬戸内国際芸術祭が昨年開催され小豆島には14万人を超える方が来訪し、コロナ禍以来久しぶりに推定観光客数は100万人を回復しました。今年についてはその反動や物価高などの影響もあり特に国内観光客数については厳しめの見通しとなっていますが、当事業計画を通して国内外観光客の誘客に努めてまいります。

昨年度は島民の皆様に向けて「小豆島みんなで考える観光広場」や環境セミナーを開催し小豆島観光に関する情報提供を行いました。また住民満足度調査を実施し、広く公表しました。他に当協会が実施している調査も含め積極的に情報公開を行い、これからも島民の皆様にご覧についてより身近に感じていただけるよう努めます。

### 【事業内容】

◎は新規事業、●は重点を置いている継続事業

#### 1. 持続可能な観光推進

持続可能な観光について、積極的に推進してまいります。

◎土庄町、小豆島町とともにグリーン・DESTINATIONZ・ゴールドアワード獲得を目指す

◎昨年度観光庁補助事業として造成したツアー（石の島、ヨット建造見学、山岳霊場など）を販売

●ユニバーサルビーチイベント（障がいのある方にビーチ体験を提供）を継続実施し、海だけでなく山でも体験提供をするなど、ユニバーサルツーリズムを積極的に推進

●国内外からの視察・FAMを積極的に受け入れ

●昨年開設した持続可能な観光に関する専用HPの充実

●両町と共同で事業者向け国際認証取得（グリーンキー等）奨励のための研修会の開催

#### 2. 観光庁など補助事業応募

観光庁などが公募する補助事業に対し応募し、採択を目指します。

●オーバーツーリズム対策事業（観光庁）交通など基盤整備

- 広域連携観光促進事業（観光庁）コンテンツ造成
- ユニバーサルツーリズム事業（観光庁）障害のある方の観光促進
  - ・食の多様性推進事業（観光庁）ベジタリアン・ビーガンメニュー等の造成
  - ・日本遺産魅力増進事業（文化庁）日本遺産「石の島」誘客

### 3. DMO 機能強化

昨年度の DMO ガイドライン改訂に合わせ、DMO 機能を強化していきます。宿泊者数や旅行消費額、住民満足度調査など様々なデータを積極的に収集・開示して施策の検証を行い、PDCA サイクルを回していきます。また、宿泊やインバウンドなどの注力分野についてワーキンググループの設置を目指します。

### 4. 観光情報発信

ターゲットに合わせて最適なメディアを選びつつ、小豆島の魅力を発信します。

◎高松市サンポートで毎月開催されているさぬきマルシェに出展

- 小豆島商談会を大阪と台湾で開催し、旅行代理店等に小豆島ツアー造成・販売促進の働きかけを行う（観光戦略部会）
- 小豆島の魅力を伝える映像を制作・配信する（観光戦略部会）
- ホームページについて鮮度高くかつ正確な情報発信を行う（現在は google 翻訳を利用している多言語対応について、より良い方法での情報提供を検討する）
- SNS（facebook, Instagram, X: 旧 twitter）についてはそれぞれの特性を生かして内容を変えつつ、頻度高く発信を行う
- 土庄町、小豆島町と連携して総合パンフレット、ロードマップ、グルメガイド、とっておき情報、各港周辺マップなどのパンフレットを紙と協会サイト上の PDF にて提供
- 神戸まつり・神戸みなとまつり（神戸市）、みなと区民祭り（東京都港区）、姫路お城まつり、赤穂義士祭など、様々な島外のイベントに出展し、小豆島を PR する
  - ・小豆島を PR するポスターやグッズを制作し、映像を撮影・配信
  - ・電話・メールによる観光客からの問い合わせの受け付け
  - ・第 4 回フォトコンテストを実施
  - ・オリーブの日に合わせ、オリーブリース作成会を開催

### 5. ガイド養成、コンテンツ造成、ツアー販売

小豆島により長く滞在し、リピートしてもらうために小豆島の魅力を発信できるガイドを引き続き養成し、ガイドが案内する体験コンテンツを造成して磨き上げ、現地ツアーとして販売します。

◎観光庁「広域連携観光促進事業」に四国ツーリズム創造機構と連携して応募し、コンテンツ造成を推進（サイクルツーリズム、石の島、小豆島八十八か所霊場）

- 観光庁「高付加価値なインバウンド観光地づくり」モデル事業（事務局：せとうちDMO）にて引き続き高付加価値インバウンド層に向けたツアー造成を行う
- 中山虫送りの運営を引き続きサポートし、火手（たいまつ）の販売を行う
- これまでも力を入れてきたガイド養成・研修を引き続き行う
  - ・モニターツアーや視察を積極的に受け入れ
  - ・島外事業者・団体による小豆島のコンテンツ造成をサポート

## 6. イベント開催

小豆島への継続的な誘客につながるイベントを開催いたします。

- YOKAI EXPO 2027 を開催
- 第5回 ONSEN ガストロノミーウォーキングを開催
- 小豆島ヒルクライムロードレースの継続開催を目指す

## 7. 受入環境整備

国内観光客、インバウンド観光客の受け入れ環境について整備を行います。

- 会員事業者のパンフレット、メニュー多言語化のサポート
- 食の多様性（ベジタリアン・ビーガンメニュー造成など）推進
- 冬期誘客策
  - ・IP（知的財産権）を利用した冬期誘客について検討を行う
  - ・観光DXについて引き続き検討を行う

## 8. マーケティング

旅行消費額調査、住民満足度調査を継続実施します。

## 9. 会員向け情報提供・セミナー開催

- 今年1月に始めた会員向け定期メール「まるごと小豆島」の発信
- 会員向けに写真撮影、映像配信、インバウンド対応など、実践的な勉強会やセミナーを開催

## 10. 島民に対する情報提供・情報公開

- 今年開催した「小豆島みんなで考える観光広場」を継続開催
- HP や SNS を通じて推定観光客数、住民満足度など調査結果を積極的に公表

## 11. フィルムコミッション事業

ドラマ・映画撮影に必要な情報を収集・提供し、映画、TVドラマ、CMなどのロケ撮影を積極的に誘致します。

- 小豆島にゆかりのある映画について上映会を開催
- フィルムコミッション専用ホームページ、SNSにより積極的な情報発信を行う
- フィルムコミッションの全国組織JFC（ジャパンフィルムコミッション）の研修などを利用して先進的なフィルムコミッションからのノウハウ取得や近隣FCとの連携を強化

## 12. 芸術文化支援

観光客にとって小豆島をより魅力的な島としていくため、多様な芸術文化活動への支援を行います。将来的には小豆島で演劇祭などを開催することを目指します。

## 13. 広域観光連携

香川県観光協会、四国ツーリズム創造機構、せとうちDMOなど島外の広域観光団体と連携して小豆島への誘客を推進していきます。